

スマホにマイナンバー

カード普及策 本人確認に活用

政府が、インターネットで行政手続きをする際の本人確認方法などを定めた「公的個人認証法」を改正する方針を固めたことが1日、分かった。平成31年にマイナンバーカードの利用者証明（本人確認）機能を活用して使えるようにするため、政府は来年1月に開会する通

常国会に改正法案を提出。低迷するカード普及の「切り札」としてスマホの本格活用を進める。マイナンバーカードのICチップには、他人によるなりすましやデータ改竄を防ぐための「電子証明書」を搭載。この機能を活用してスマホにダウンロードして使えば、カードが手元になくて

も利用者証明が可能だ。総務省は既に技術的な実証を終えており、セキュリティ面の強化を急ぐ。

実現すれば、コンビニエンスストアでの証明書交付など、マイナンバー関連の行政サービスをスマホで受けられる。

総務省は同カードや利用者証明機能をダウンロードしたスマホを、イベント会場への入場に使って、チケットの不正転売を防ぐ仕組みの実用化を目指す。2020年東京五輪・パラリンピック会場への入場管理に利用することも検討している。

政府、法改正へ

米「北、対話に興味なし」

核・ミサイルめぐり接触

【ワシントン＝黒瀬悦成】米国務省のナウアート報道官は9月30日、声明を発表し、米国が核・弾道ミサイル開発を続ける北朝鮮の金正恩体制と「意思疎通のできる複数のチャンネルを確保している」と述べた。

意がある様子も示していない」と語り、現時点で北朝鮮は対話に興味がないとの見方を強調した。

声明に先立ち、中国訪問中のティラーソン米国務長官が30日、北京で記者団

トランプ政権が北朝鮮と核問題に関して直接やりとりしていることを明らかにするのは初めて。

「北朝鮮側と接触して対話の意思があるのか探っていると語っていた。ナウアート氏はその上で、「米国が（北朝鮮の）体制崩壊の促進や政権転覆の追求、朝鮮半島の統一の加速化や軍事境界線の北側への侵攻に関心がないと断言しているのに、北朝鮮の当局者らは非核化に関する対話への関心も、対話の用

力」の構えを打ち出しているタイミングでティラーソン氏が米朝接触に言及し

たのは、米朝首脳による非難合戦が激化する中、両国間で意思疎通の手段が維持されていることを示すことで緊張を和らげる効果を狙ったとみられる。

きょうの指針

ケイ・マズモト

子 他の人には無理なことも挑戦
丑 思うとおりに物事運ぶ幸運日
寅 善人少なく見えるが実は多い
卯 エネルギーの無駄遣いやめて
辰 信じる人には神仏の加護ある
巳 やればやるほど力がみなぎる
午 思い残すことないあきらめる
未 机上論ではなく実践を積んで
申 異性問題のトラブルにご用心
酉 必要なものだけ購入無駄省く
戌 助け求められたら力を貸して
亥 自己表現することで楽しめる